

田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略

(平成30年度重点説明資料)

- 基本目標1 産業振興による雇用の創出
- 基本目標2 人材の定着・環流・移住の推進
- 基本目標3 結婚・出産・子育て環境の整備
- 基本目標4 持続可能で元気な地域社会の形成

令和元年6月14日

田布施町地方創生検討委員会

基本目標 1 産業振興による雇用の創出

目標数値

雇用創出数

50人

基本的方向

1 若者の大学進学や就職等をきっかけに町外に転出し就職しているため、さまざまな産業団体、企業などによる連携体制を構築し、既存産業の支援を図るとともに、新たな雇道を創出します。

アクションプラン (1) 雇用の創出

- ① 企業誘致の促進
 - ア. 企業立地奨励金交付事業
 - イ. サテライトオフィス等推進事業(光ファイバー網整備)
- ② 中小企業の支援
 - ア. 柳井地域合同就職面接会
 - イ. 創業支援事業
 - ウ. 売れるものづくり支援事業

2 農林水産業の担い手を確保するため、地元生産者や団体と連携し、受け皿づくりを行い、新規就業者を促します。

3 地元生産者、事業者、学校、特産品委員会、直売店など関係機関と連携し、特産品の掘り起こしや開発、売込み強化、6次産業化の取組を行います。

アクションプラン (2) 農林水産業の振興

- ① 農林水産業の担い手の確保と育成
 - ア. 新規就業者促進事業
 - イ. 農林漁業体験事業
 - ウ. 農林水産物販路拡大事業
 - エ. 農水産物ブランド化調査・検討事業
 - オ. 国営緊急ほ場整備事業
- ② 構造特区改革の活用
 - ア. 地域経済循環事業

4 幅広い産業や団体及び地域を活性化させるため、新たな観光資源の掘り起こしや開発、魅力ある観光メニュー、特産品のブランド開発に努めるとともに、交流人口拡大に取り組みます。

アクションプラン (3) 観光産業の育成・支援

- ① 観光開発連携事業
 - ア. 体験型観光事業
 - イ. 特産品開発事業
 - ウ. のんびらんど・うましま利用促進事業
 - エ. 新たな観光拠点の検討事業

平成27年度実績	9人
平成28年度実績	28人
平成29年度実績	44人
平成30年度実績	47人

○ 雇用創出数の目標数値は、新たな雇用の場を創出した人数を累計で計上しています。

○ 平成30年度は、農業の新規就業の実績を加えています。

主な戦略の取組と問題点

主な戦略の取組と問題点	キーワード(例)
<p>(1) 雇用の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存企業の追加投資による企業立地奨励金の実績は毎年ありますが、用地不足等もあり新規立地によるものではありません。・・・① 企業誘致の促進 ア サテライトオフィスの誘致を進める為に、町内全域(離島を除く)への光ファイバー網整備に向けて、調査研究を行っています。・・・① 企業誘致の促進 イ 合同就職面接会の開催、創業支援事業計画の推進等の取組を実施しています。・・・② 中小企業の支援 ア・イ <p>(2) 農林水産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就業者を確保し、新たな雇用創出に向けた取組を行っています。・・・① 農林水産業の担い手確保と育成 ア・オ 国の交付金を活用して、田布施農工高校と地域交流館が連携して、商品開発を実施しました。また、引き続き東京や広島等での出店・PR等の取組を行いました。今年度も引き続き、同様の事業に取り組んでいきます。・・・① 農林水産業の担い手確保と育成 エ 国の交付金を活用し、令和元年度に田布施町地域交流館を増築・一部改修を行います。田布施町農水産物ブランドの拠点として、加工品の増産や生鮮品の集荷に資するものとなります。・・・① 農林水産業の担い手確保と育成 エ <p>(3) 観光産業の育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> のんびらんどうましまでは、引き続き、令和元年度も町子連による活動やたぶせキッズ教室、町内小学校の訪問、婚活イベントを予定しています。・・・① 観光開発連携事業 ウ 既存観光拠点の強化として、田布施町地域交流館の一部改修を行いました。令和元年度は田布施町地域交流館を増築し、飲食スペースや多目的スペースを確保し集客の強化を目指します。・・・① 観光開発連携事業 エ 	<p>企業誘致 サテライトオフィス 創業支援</p> <p>地域振興作物 特産品開発 イチジク農家の継承</p> <p>のんびらんどうましまの活用 地域交流館の拠点化</p>

基本目標 2 人材の定着・環流・移住の推進

目標数値

人口の社会的減少の抑制

+39人（令和2年）

基本的方向

1 本町の多彩な資源を活用し、交流人口の増加を図るとともに、本町の魅力を内外に浸透させ、本町の認知度向上やイメージアップを図り、移住・定住意欲の醸成を地域や各種団体と連携して取り組みます。

アクションプラン (1) UJIターンの推進

- ① 都市と農山漁村との交流
 - ア. たぶせIJU促進事業
 - イ. 地域おこし協力隊事業

2 若者の大学進学時や就職時に県外への転出が多数に及んでいます。県内進学や県内（町内）就職の促進等により、大学生等の若者や女性の町内への定着を図り、県内に所在する大学等の活性化、企業等における地方採用・就労の拡大に取り組みます。

アクションプラン (2) 大学等の連携・協働による若者の定住促進

- ① 大学等の連携・協働による若者の定住促進
 - ア. 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業

平成27年度実績	+8人
平成28年度実績	+23人
平成29年度実績	+81人
平成30年度実績	+16人

- 人口の社会的減少の抑制の目標数値は、田布施町人口ビジョンにおいて、移動率を令和17年以降、転出超過となっている年代の転出数をゼロとして独自推計しているため、令和2年の時点で社会的減少を△45人から△6人へ抑制することにしています。
- 平成30年度実績は△29人であり、再び社会的減少に転じています。平成27年度実績は△37人、平成28年度実績は△22人、平成29年度実績は36人と、段階的に社会的減少を抑制してきましたが、平成30年度は抑制が弱まっています。

主な戦略の取組と問題点

	キーワード(例)
<p>(1) UJIターンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住体験暮らしツアーを農業体験と連動して実施していますが、参加者が少ないのが現状です。・・・① 都市と農山漁村 ア ・ ツアー参加者の意見や移住・定住を検討している人の意見を参考に、受入れ態勢の整備を行い、地域住民・企業・団体など町全体で移住・定住を推進できる気運を高めることが課題です。・・・① 都市と農山漁村 ア ・ 不在になっていた地域おこし協力隊を新たに1名採用し、農業や地域の活性化に資する活動を行っています。・・・① 都市と農山漁村 イ 	<p>農業体験(イチジク)</p> <p>移住者の受入れ</p> <p>近隣からの転入</p> <p>孫ターン</p> <p>おいでえ</p>
<p>(2) 大学等との連携・協働による若者定住促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島修道大学に新たに設置された国際コミュニティ学部の「体験実践(地域交流)」による学生の受入れを広報用務で1名行いました。 また、広島市立大学の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の枠組みを利用して、柳井広域行政連絡協議会の後援で「高校生のための広島市立大学サテライト講座」を柳井市で開催しました ・・・① 大学等との連携・協働による若者定住促進 ア 	<p>インターン</p>

基本目標 3 結婚・出産・子育て環境の整備

目標数値

年少人口(0歳~14歳)

1,836人(令和2年)

基本的方向

1 若い世代の視点に立ち、安心して結婚、妊娠・出産、子育てできる環境づくりを進めていくため、経済的支援を図るとともに、妊娠・出産、子育ての切れ目のない支援や、子ども・子育て支援の充実に取り組みます。また、女性の仕事と生活の調和に向けた就業環境づくりや、子育ての環境整備に取り組みます。

アクションプラン (1) 若い世代の結婚、妊娠・出産・子育ての支援

- ① 安心して子どもを産み育てられるサポート体制の充実
 - ア. 婚活イベント開催事業
 - イ. 妊娠・出産のサポート体制の充実
 - ウ. 子育てのサポート体制の充実
- ② 出産・子育て支援の充実
 - ア. 出産・子育ての負担軽減
 - イ. 子育て支援事業の充実

2 ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもを増やすとともに、社会総がかりでの地域教育力日本一の取組を推進し、確かな学力を身につけ、県内トップクラスの成績を目指します。

アクションプラン (2) 教育の充実

- ① 教育の充実
 - ア. 教育の充実
 - イ. 図書館の充実

平成27年度末年少人口	1,873人
平成28年度末年少人口	1,805人
平成29年度末年少人口	1,758人
平成30年度末年少人口	1,708人

1 年少人口（0歳～14歳）は、平成26年度末は1,913人であったものが、平成30年度末は1,708人となり、4年間で205人減少しています。

2 平成30年度末年少人口は、すでに令和2年度の目標数値1,836人（国勢調査数値）を割り込み、現段階においても達成ができない状況になっています。

主な戦略の取組と問題点	キーワード（例）
<p>(1) 若い世代の結婚、妊娠・出産・子育ての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 柳井広域の婚活イベント（年3回）を開催しています。時期や一部内容の変更を行った上で、引き続き開催します。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 安心して子どもを産み育てられるサポート体制の充実 ア 平成29年度に小学校3学年までを対象とした子ども医療費の無償化を、令和元年度4月から小学校6学年まで対象に拡大しました。加えて、多子世帯への保育料軽減の拡大、親元近居住宅取得応援事業の実施などは継続して取組を実施しています。また、子育て住宅支援事業は「子育て住まいる支援事業」として令和元年度4月より補助内容を拡大させました。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・② 出産・子育て支援の充実 ア <p>(2) 教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校の実情に応じて、「コミュニティ・スクール活動内容」の充実に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 教育の充実 ア キャリア教育の推進では、県レベルの水準以上は達成しており、更に本町独自の取組として、全小学校で町長と児童との交流の場である「田布施の未来を考える会」の実施や田布施町歌の普及に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 教育の充実 ア 町内小中学校において、田布施農工高校生徒による出前講座や県内大学の学生との交流に取り組んでいます。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 教育の充実 ア 田布施農工高校と連携・協働に関する協定を平成31年3月に締結し、今後、将来の地域社会を担う人材育成と地域社会の発展に資する為に、連携して事業を進めていきます。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 教育の充実 ア 	<p>婚活支援</p> <p>世話人育成</p> <p>多子世帯支援 第2子から 第3子から</p> <p>子育て応援給付金 子育て支援</p> <p>コミュニティ・スクール</p>

基本目標 4 持続可能で元気な地域社会の形成

目標数値

地域リーダー育成

6人

基本的方向

1 町民との協働によるまちづくりを推進し、持続可能で元気で安心して生活できる地域社会を形成するため、地域リーダーやボランティア・NPO団体の育成や、町民が主人公のまちづくりに取り組みます。

アクションプラン (1) 地域と地域の連携

① 地域コミュニティのまちづくり

ア. まちづくり推進事業

イ. 我がまちスポーツ推進事業

ウ. 麻里府地区活性化事業

エ. 買物送迎サービス事業

2 本町の多彩な地域資源を活用し、交流人口の増加を図るとともに、本町の魅力を内外に浸透させ、本町の認知度向上やイメージアップを図り、移住・定住意欲の醸成に地域や各種団体と連携して取り組みます。

アクションプラン (1) 地域と地域の連携

② 地域資源を活用したまちづくり

ア. 河川公園開放イベント事業

イ. 伝統芸能活用事業

ウ. 新たな拠点づくり

3 空家や空店舗の活用、住宅の整備を通して、「住まいのまち」として良好な生活環境の確保を図るとともに、安全・安心なまちづくりに取り組みます。

アクションプラン (2) 空家対策の推進及び住環境の整備

① 空家対策の推進

ア. 空家対策の推進

アクションプラン (3) 安全・安心のまちづくり

① 安全・安心のまちづくり

ア. 安全・安心のまちづくり

4 その他

アクションプラン (4) 地域情報の発信力の強化

① 地域情報の発信力の強化

アクションプラン (5) 広域連携の推進

① 広域連携の推進

平成27年度実績	2人
平成28年度実績	3人
平成29年度実績	2人
平成30年度実績	3人
<p>○ 初代地域おこし協力隊員2人は、3年間の任期を終えましたが、馬島に定住し、たぶせJU推進協議会などの役員として活動を引き続き実施しています。</p> <p>○ 新たな地域おこし協力隊員を1名採用し、農業を中心に活動を行っています。</p>	

主な戦略の取組と問題点	キーワード(例)
<p>(1) 地域と地域の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生を対象とした映像制作ワークショップを実施し、田布施をPRするCMを作成しました。引き続き実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 地域とコミュニティのまちづくり ア 定期的にウォーキングが実施され、参加者は増加しています。町外からの参加もあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 地域とコミュニティのまちづくり イ 買物送迎サービスは、経由地を追加し、登録者の増加に努めています。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 地域とコミュニティのまちづくり エ 河川公園の活用の検討や伝統芸能の町外公演などを引き続き実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 地域資源を活用したまちづくり ア・イ <p>(2) 空家対策の推進及び住環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 空家等対策計画に基づき、詳細調査を実施した上で特定空家(累計13軒)の判定を行い、新たに2軒(累計4件)の特定空家の除却を行いました。引き続き、調査・除去を進めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 空家対策の推進 イ 空家バンクの登録推進について、お試し住宅の運営(1軒)や空家リフォーム事業助成金交付事業を行っています。 <p>また、固定資産税の納付書に、空家バンク登録を促すチラシを所有者の町内・町外問わず同封したことにより、相談及び登録件数(13件)が増加しています。結果、空家バンクによる契約も増えています。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 空家対策の推進 イ </p> 	<p>ワークショップ</p> <p>イベント</p> <p>空家等対策</p> <p>空家バンク</p>